

看護科（基礎看護）の事例

【考え・基礎知識】

安全や医療事故に関する専門用語や危険予知トレーニングによる危険予測及び対策について説明できる。

- ◇ 学年 第1学年
- ◇ 単元名 安全と医療事故
- ◇ 単元の目標 看護師としての安全や医療事故に関する基本的な考え方や基礎的な知識と技術を習得するとともに、医療事故の発生を回避するための安全管理や事故発生時の危機管理の方法について状況等に

【つながり】

今後行われる看護臨地実習で、医療事故に関する基礎知識を基に、医療事故の当事者となった場合、状況等に応じた最善の対応策を考え、その要点を説明できる。

【応用・ひろがり】

看護師として、医療事故の発生を回避するための安全管理や事故発生時の危機管理の方法について、状況等に応じた具体的な提案を行うことができる。

看護師としての安全や医療事故に関する基本的な考え方や基礎的な知識と技術を習得するとともに、医療事故の発生を回避するための安全管理や事故発生時の危機管理の方法について状況等に

時	主な学習活動
1	・これまでに発生した重大な医療事故を調べ、医療事故に関する専門用語を確認する。
2	・危険予知トレーニングによる危険予測やヒューマンエラーの原理を確認する。
3	・看護師が起こしやすい医療事故の事例を基に、その原因の分析や解決策を話し合い、安全管理における看護師の役割についてまとめる。
4	・看護臨地実習において、事例として「患者情報を記載したメモの紛失」を取り上げ、事例の中でどのような対応策が考えられるか話し合い、その要点を説明する。→ 本時
5	・クラス全体で最善と考えられる対応策を共有し、日頃の自己の行動について振り返る。

熟達した看護師であっても、医療事故を発生させており、誰もが当事者になり得るという課題意識をもたせるとともに対策について考えさせる。

◇ 本時の目標 今後行われる看護臨地実習で、医療事故の当事者となった場合、状況等に

◇ 学習の流れ(4時間目/全5時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準[観点] (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ。</p> <p>・前時で取扱ったこれまでの看護師が起こしやすい医療事故の事例について、事故の発生の経緯を再度確認する。</p> <p>課題 熟達した看護師でも医療事故を引き起こし、その後訴訟にまでなっているのは、なぜか。</p> <p><予想される生徒の反応> ・一人に対応した。・対応が遅れた。・十分な説明が相手側にされなかった。・コミュニケーションが不足した。</p>	<p>◇前時に話し合わせた医療事故の事例とその原因・解決策について想起させる。</p> <p>◇医療事故の発生後の対応策はどうであったか確認させる。</p> <p>◇医療事故を発生させないための対策とともに、事故発生後の適切な対応の重要性に気付かせる。</p>	<p>【課題発見】 医療事故をなくすることは難しいが、事故の影響を最小限にとどめることができるのではないかと新しい視点に気付かせる。</p>
<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて 医療事故の当事者となった場合を想定し、状況に応じた最善の対応策を考え、その要点を説明しよう。</p>		
<p>3 事例から医療事故の場面を具体的に設定する。</p> <p>【事例】生徒Aが実習で得た患者の情報を記入したメモ帳を紛失したことについて、帰宅後に気付いた。</p> <p>・身近な事例を基に具体的な場面設定を行う。</p>	<p>◇自分事として考えやすいように、これまでの看護臨地実習における経験や指導されたこと等をグループ内で交流させる。</p>	
<p>4 事故の原因及び影響と事故直後と再発防止のための最善の対応策を話し合う。</p> <p>・個人で意見を考える。</p> <p>・グループで意見交換をすることで、最善の対応策をまとめる。</p> <p><予想される生徒の反応> 再発防止のための対策の一つとしては、誰でも起こしうる失敗をとがめるのではなく、報告しやすい環境がまずは必要ではないか。さらになぜそのようなことになったのか考える重要な機会とすることが大切ではないか。</p>	<p>◇個人で事故の原因等とともに事故による影響を予測させる。</p> <p>◆考えることが困難な生徒は、前時の事例と比較し、考えさせる。</p> <p>◇個人の意見をグループ内で交流させ、他者からの新たな気付きをメモさせる。</p>	<p>【深い学び】 単に解決策を導きだすだけではなく、最善の対応策を考える上での情意的な側面の思考を深めさせる。</p>
<p>5 最善の対応策を考え、その要点をまとめる。</p> <p>・個人の考えをまとめる。</p>	<p>◇対応策を考えることにより、医療事故への対応の考え方で重要なことをまとめさせる。</p>	
<p>6 本時のまとめを行う。</p> <p>生徒のまとめ例 私は、学習する前は、自分が当事者になってしまったら、周囲に報告・相談ができないうちで考えていた。しかし、それではより問題を深刻化させることが分かった。医療事故を未然に防ぐことや事故の影響を最小限にとどめるには、速やかな報告・連絡・相談が必要であり、情報を共有することが重要である。それを行動化するためには、患者さんの人権を最優先し、患者さんや御家族のことを大切に考える看護師としての強い自覚が必要であると考えた。</p>		<p>・状況等に</p>
<p>7 本時を振り返り、次時につなげる。</p> <p>・医療事故に対する基本的な考え方や看護師としての心構えとは何かを考える。</p>		<p>・状況等に 最善の対応策について、その要点を説明している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>